

洛東江河口堰開放と紛争課題

イ・ジュンギョン 東江河口汽水生態系復元協議会 常任代表

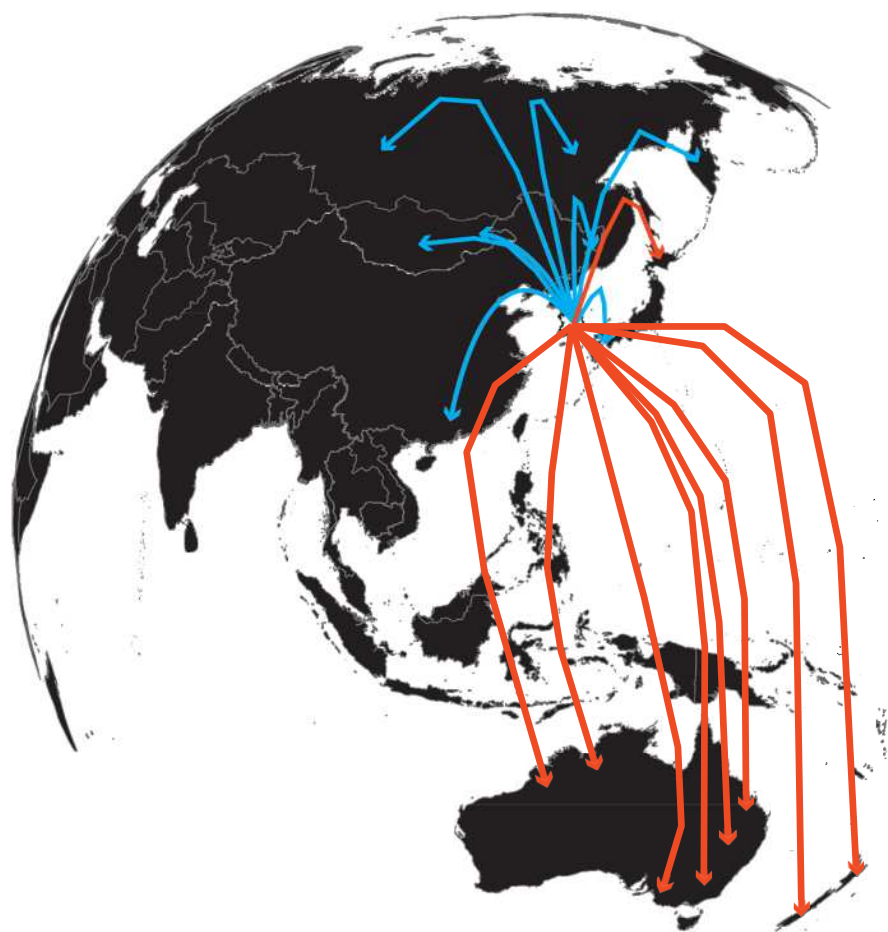
2024년 7월

1. 洛東江河口とは?

海と川が出会うところだ!



1. 洛東江河口とは？



大韓民国渡り鳥200カ所のうち
 渡り鳥種の多様性 **1位**(96種)*
 渡り鳥訪問個体数**4位**(209,072匹)**

- 環境部, 国立生物資源館同時調査2021

生物多様性の宝庫!!

渡り鳥たちの中間休憩場!!



East Asian-Australian Flyway

洛東江河口域

- 面積：約310km² (釜山市面積の40%)

- 行政区域：西釜山圏域

江西区, 北区, 沙上区, 沙下区, 慶南金海市, 梁山市

❖ 河口堰開放問題の主な内容

❖ 河口堰開放に伴う河川、海洋影響の検討及び構造物の安全性確保方を準備

@ 構造物の安全性問題なし

2. 地下水塩分浸透による農作物などの影響分析及び河口地域生態モニタリング

@ 実証実験地下水問題なし、水門長期開放後の塩分浸透モニタリング拡大

3. 水門開放試験運営(実証実験)、多様な海水流入方法構築を通じた生態復元

@ 渇水期、豊水期、大潮期 一ヶ月連続、大潮期、越流、川床 など海水流入及び排除

4. 水門長期開放時の取水源、農・漁業、海洋への影響評価及び対策を準備

@ 汽水域段階的長期開放推進中

@ 2025 年大渚水門改善完了、運河川農業用水供給可能

@ しじみや会流性魚類生態モニタリング、鶴章川など支流生態復元方を提示

5. 常時開放による汽水域13kmから20kmまで拡大及び統合水管理方

@ 農業用水塩分長期モニタリング及び生農工用水取水口移転、水中梁建設など

낙동강 기수 생태계 복원 비전



* 부분개방: 수문의 주기적인 개폐를 통한 기수역 조성

* 취수원 영향 최소화, 농업 영향 小(부산 강서지역)

- * 서낙동강 유역 농업 및 지하수 영향 확대
- * 부산시 및 광역상수도(물금매리원동 취수장) 영향 無

* 하굿둑 상류 염분 침투 영향범위 내(최소 25km)
생/공/농 취수장 이전 또는 대체 계획 필요

3차용역 중간보고 자료참조(2020.4.29)

1 今後の計画 - 河口統合物管理の必要性

✓ 洛東江河口水管理の現状

수리시설 소유 · 修理施設所 · 有運營主体 · 目的が多元化されており, 河口堰開放, 西洛東江(EDC など) 水質改善などの水管理状況の変化が求められ, 複雑な水問題を解決するための統合運營体系の構築が必要



- 기수생태계 복원 요구
- 물공급 안정성 확보 필요
- 지역 갈등 해소 필요



- 물흐름 정체 및 수질악화 (BOD 기준 Ⅲ~Ⅳ 등급)
- 서낙동강 유역 홍수취약



- 시설물 관리주체 다원화
- 정보공유 및 시스템미흡
- 기관간 연계운영 미시행

⇒ 水量・水質・生態・都市環境を考慮する「洛東江下口統合運營」が必要

2023 洛東江河口生態復元今後の課題

1. 汽水域拡大造成 - 22年の長期開放運営及び汽水生態復元宣言
2. 洛東江河口統合水管理
 - システム構築,高度化,調査研究など技術基盤の強化,管理水位の検討
3. 段階的汽水域区間拡大及び生態復元事業
 - 鮭, モクズガニ, イセウキヤガラ, しじみなど
4. 洛東江グリーンニューディールと私たちの川の自然回復,生態観光試験事業の推進
5. 法制度的改善及びガバナンスの推進:協議会及び河口統合管理法の制定など
6. 農業用水の再改良と原水の水路供給
7. 国土均衡発展と国家河口戦略の確立

洛東江河口統合水管理

統合水管理の先導

期待効果

- 国内河口堰開放1号
 - 国内初の統合水管理の定着のために河口堰開放開始, 今後他地域の波及効果が予想される
 - 河口堰開放の国政課題(2017.7)実施
- 汽水域生態復元のための持続可能なシステム構築
 - 汽水生態系復元の範囲設定, 段階的計画策定など持続可能な実践戦略確立可能
- 国家河口戦略の出発点
 - 統合水管理システム:
水情報共有プラットフォームで河口水管理状況を予測 - 中央監視制御
 - 国家河口戦略の確立と実践のための出発点になることができる

国家河口戦略(NES)

- 河口域の環境,経済,社会,文化的な側面を考慮した統合的・体系的・効率的な河口管理方案を法制化することにより,河口価値の活用を最大化しようとする
- 法制定 は統合的で体系的な河口管理と地域発展の道具になるはず



韓日市民社会団体,専門家交流会活性化

1. 持続性 - 相互交流成果共有と議題の拡張が必要
2. 定期性 - 毎年,隔年相互交流システムの構築/財政と議題
3. 議題の拡張性
 - 市民社会の活動過程. 農漁民,自治体の紛争緩和,ガバナンス
 - 水利用の合理性,代替確保
 - 常時開放と汽水復元領域の拡大,生態復元システム
 - 地域のバランスのある発展,国際交流連帯など
4. 韓日・国際連帯
 - 韓国4大河川海水流通協議会、国家河口復元ネットワーク
 - 韓日下水汽水復元交流会
 - EU DAM REMOVAL
 - 気候危機,生物多様性危機時代 EU 自然回復法と気候適応
 - EU 25,000km 自由に流れる川/アメリカのダム解体政策

